

平成 25 年度 第 1 回指導医制度委員会議事録

日時： 平成 25 年 12 月 5 日 14:00-16:00

場所： マイナビ ミーティングルーム

出席者：橋本友幸理事、笠井裕一委員長、市村正一、伊藤学、尾形直則、佐藤公昭、
竹林庸雄、中村博亮、波呂浩孝、矢吹省司 各委員

出席者全員にて、平成 25 年度新規申請者 86 名、継続申請者 74 名の審査会が行われ、その後委員会が開催された。

議題

1. 委員会書記の決定

尾形直則委員が選出され、その後は笠井委員長が議事を進めた。

2. 問題のあった申請者についての検討

- 抄録がコピーではなく、自分で作ったワープロで出されている申請者が 1 名あり、再度、業績を提出させて、再審査することになった。
- 代表症例 30 例が 2 施設にわたるが、病院長証明が 1 施設分しかない申請者が 1 名みられたが、その病院長証明が事務局に届いていることがわかったため、この申請者は合格とした。
- 評議員による評価において、2 名の評議員から C 判定をつけられた申請者が 1 名みられたため、評価した評議員に再評価を依頼することになった。
- 猶予申請が出されていた継続申請者のうちの 2 名の猶予期間が 3 年以上であったため、なぜ猶予期間が長くなったのか、その 2 名の申請者に確認することになった。

上記の問題のあった 4 名の再審査に関しては、笠井委員長に一任することになった。

3. 平成 26 年度の新規会告・継続会告について

新規申請者の締め切りを現行の 10 月末から 9 月末に変更すれば、評議員による評価期間に余裕が生まれるという意見があり、この提案は本委員会で承認された。よって、これは理事会に諮ることになった。

4. 専門医制度に関して

中村博亮委員や波呂浩孝委員から、脊椎脊髄外科専門医制度に関する現状が説明され、専門医試験の問題作成依頼、研修認定施設の認定などについての話があった。

5. その他

- 手術記事に関して、文字だけでなく、絵を入れることを推奨したいという意見が出された。
- 業績に関して、抄録のコピーやプログラムのコピーをきちんと出していただく必要がある点が強調された。
- 新規申請者に対する手術技術を「C」と評価する評議員が多くみられたが、実際には、3人の評議員に手術技術の評価をしていただくこと自体が困難であるという指摘がなされた。そして、手術技術を評価するためには、「評議員」ではなく「指導医」の評価でも良いのではないか、評価方法に少し問題があるのではないか、などの意見が出された。これに関しては、理事会に問題を提起して、意見をいただくことになった。
- 2年後に多くの人が指導医を継続更新するはずなので、継続審査の情報について、しっかりと広報すべきであるという指摘があった。